

会議の名称	民生文教委員会 協 <small>議</small> 会	開催月日・令和4年12月23日 開会時間・午前・午後8時57分 閉会時間・午前・午後9時00分
出席者	柴田 喜朗 栗津 明 安井 智子 南谷 佳寛 堀 隆和 糟谷 玲子	
欠席者		
オブザーバー	副議長 後藤 國弘	
傍聴者		
説明のために出席した者	堀議会事務局長 藤井議会総務課長 大下議会総務課課長補佐 中村議会総務課主任	
協議事項	○ 発議する意見書について	

【開会＝午前8時57分】

柴田委員長

ただいまから民生文教委員会を開会いたします。
本日発議する意見書についてを議題といたします。先日12月19日に開催の委員会におきまして、当委員会で意見書を発議することと決定いただいておりますが、その意見書案について、お手元にお配りしております案にて提案したいと考えております。12月9日の花村議員への一般質問において、国の責任において全国一律の制度を構築するよう知事会を通じて要望しているとの答弁がありました。また、最新の人口動態統計、2022年のものの発表があり、その結果を踏まえての表題及び関係する内容を改めてはとを考えます。これにつきましてご意見などございますか。

糟谷委員

人口動態統計が発表されましたので、前のは2021年の出生率と想定より7年早くとなっておりますが、今年度出た数字を見ると、もっとペースが早まっているということなので、一番新しい年度の2022年、今年の出生数で書き直されたらいい、これでいいと思います。以上です。

柴田委員長

ありがとうございます。その他ご意見ございますか。

(発言なし)

柴田委員長

それではこの案にて進めてまいります。賛同いただきました委員の皆様はこの発案書に署名をいただきますのでよろしくお願いいたします。

これで民生文教委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

【委員会終了＝午前9時00分】